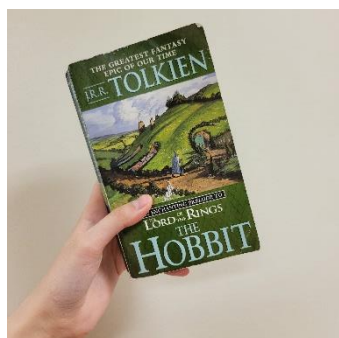


留学報告書 ～フェアバンクスで学んだこと～

アラスカ大学フェアバンクス校
外国語学部生（長期）

私はアラスカ大学フェアバンクス校に2セメスター留学をして、通常のアメリカ留学では学べないような文化を学び、経験をすることができました。また、目標としていた英語力、特に英語を使ってコミュニケーションをとる能力を向上させることができましたと感じています。留学を通して英語に関してやそれ以外の文化や歴史など、日本では簡単に学べないようなことに触れて、経験することができ、勉強面だけでなく精神面でも自身の成長に繋がりました。

留学中の授業は英語の言語学としての授業を通年で履修しました。この授業は主にライティングに焦点を当てるもの、リーディングに焦点を当てるものに分かれており、アカデミックな英語力の向上のために週に3時間ずつ受講しました。ライティングの授業では基本的な英語での文章の書き方から、オーガナイズ、記号の使い方を理解できるまで丁寧に



教えていただきました。リーディングの授業では英語の文章を上手く読むための9つのスキルやノートテキングの方法等を教えていただき、実際にTOEICなどの英語の能力テストで使えるスキルを学び、使う練習をしました。授業を通して何枚もペーパーを書いたり、英語の記事や本を読んだりしてアカデミックなスキルを身につけることができましたと感じています。さらに、日常的に先生や友人と英語で会話することによって、英語をコミュニケーションツールとして使うことができ、リスニングスキルや特に苦手意識のあったスピーキングスキルを伸ばすことができました。

留学中は英語に特化した授業だけではなく、世界文学やグループコミュニケーションなどの授業も受講しました。世界文学の授業では創世記やギリシャ文学から中国文学、アラスカネイティブ文学までを英語で網羅しました。日本でも英米文学論等の授業を履修していましたが、日本の授業とはまた違い、英語に翻訳された本を読むので難しかったです。漢詩などは本文のまま読んでみたり、英語の翻訳を使ってみたりと今までしたことが無かった勉強法を試すこともできました。グループコミュニケーションのクラスではプレゼンテーションをしたり、グループでディスカッションをして提起した問題を解決し、クラスでプレゼンとして発表したりしました。複数人の間での英語でのコミュニケーションが求められるので、かなりスピーキングやリスニングを強化できたと感じています。

さらに、2セメスターにわたり日本語クラスのチューターとして日本語を学ぶ学生のサポート、日本語での会話、日本語を英語で説明する等をし、同じく語学を学ぶ現地の学生から英語だけでなく、日本語や日本の文化を学びました。私は漢字クラスと三年生クラスを担当しましたが、私が日本語や日本の文化を教えるだけでなく、学生から学ぶことやモチベーションをもらうことも多かったです。

フェアバンクスで経験したことは勉強のみではありません。フェアバンクスならではの極夜やウィンタースポーツ、自然を身近に感じながら生活しました。フェアバンクスはアメリカで最も寒い都市であり、冬には日照時間が最短で3時間弱になることもあります。フェアバンクスに到着した8月ごろは夜11時頃まで外が明るく、不思議な感覚を覚えました。10月末から雪が降り始め、冬至にはほぼ真っ暗な状態になります。雪すらまともに見たことが無かったのでフェアバンクスの冬には驚かされることばかりでした。オーロラを見ることもでき、貴重な体験になったと思います。また、ウィンタースポーツも経験し、クロスカントリースキー、アイスクライミング、犬そりなど日本では簡単にできないような体験をしました。さらに、キャンパス内には頻繁にヘラジカがきたり、リスが走っていたりと自然に囲まれて生活することができます。ヘラジカはとて大きく、危険なのでキャンパスから警告メールが来ることもあり、アラスカならではの感じていました。



また、アラスカでの留学を通して、アラスカネイティブの生活やアラスカの歴史、文化、アラスカネイティブの言語なども学ぶことができました。日本にいるとなかなか身近に感じるできないトピックですが、実際にアラスカネイティブの言葉を聞いてみたり、日本にはない文化を目の当たりにしたりすることで、自分もアラスカに住む一員として考え、学ぶきっかけになりました。私は今回の留学が初めての海外経験だったので、日本との違いを非常に感じただけでなく、日本特有の文化に関しても気づくことができ、日本を違うアングルから見て考えることも出来ました。



上記のように、私はフェアバンクスでの留学を通して語学面や勉強面、文化や歴史など様々なことを学び、経験しました。この留学経験が勉強面、精神面ともに良い変化をもたらしたと思います。まず勉強面において、留学出発以前から目標としていたスピーキングスキルの向上ができました。留学前はなかなか英語で話したり、英語を自分から日常生活で使ったりする機会がなかったので英語を使って話すことが怖く感じることも多かったです。しかし、留学中に英語を使って先生や友達と会話したり、お店や食堂等で会話したりすることで、自分の思ったことや伝えたいことを英語で伝えることができ、現地でネイティブスピーカーの友達を作ることができました。また、ENLGの授業は留学生しか履修することができず、履修している留学生は全員日本出身だったので、日本人の留学生と話すときも英語を使いました。最初は怖い気持ちもありましたが、徐々に慣れて日本人ともネイティブスピーカーともスムーズに英語でコミュニケーションをとることができるようになりました。さらに、英語を「ツール」として使えるようになりました。英語をコミュニケーションのためや、自分の興味のある分野を勉強するためのツールとして使えるようになることが一つの目標だったので、留学したことによりアメリカで問題なく生活できるようになることができ、英語力の向上を実感しました。

精神面においては、初めて親元を離れて、慣れた地域から遠い国で生活したことで、自立できたと思います。留学前は一人で行動することも出来ないくらい周りの人に頼りきりで依存していましたが、留学を通して一人で行動できるようになり、自分で考えて動けるようになりました。さらに、英語で自分の意見や意思を的確に伝えることができるようになりました。

留学生活を通して語学力を向上させ英語でのコミュニケーションをとることやアメリ

カ・アラスカの歴史と文化を学ぶことができ、自身の勉強面・精神面における成長にも繋がりました。フェアバンクスで学べたことは貴重な経験であり、この経験や学んだことを活かして今後のキャリアを築いていきたいと考えています。